

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：水産業費 目：水産業振興費

事業名 清流長良川あゆパーク活用促進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 里川振興課 水産振興室 漁業振興係 電話番号：058-272-1111(内4216)

E-mail：c11428@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 879 千円 (前年度予算額： 2,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,000	275	0	0	0	0	0	0	1,725
要求額	879	275	0	0	0	0	0	0	604
決定額	879	275	0	0	0	0	0	0	604

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

清流長良川あゆパークの活用促進に係る経費 (事務経費を含む)

(2) 事業内容

① 77万人達成イベントの開催

パークオープン後も引き続き集客を図るため、77万人達成など節目となる時期にセレモニー等を開催

(3) 県負担・補助率の考え方

県有施設としてのあゆパークの存在をPRする経費であり、県で負担

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	159	業務旅費
消耗品費	152	式典等開催に伴う消耗品
役務費	18	郵便料及び記念品発送料
業務委託料	550	イベント開催に係る委託料
合計	879	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

ぎふ農業・農村基本計画（令和3～令和7年度）
第5章 1（3）⑥鮎を守り育てる体制の構築

(2) 後年度の財政負担

パークのにぎわいを発信するためには、節目ごとにセレモニー等を開催する必要があり、継続的負担が必要である。

(3) 事業主体及びその妥当性

県有施設の発信及び知名度向上を目的とした事業であり、県が主体となって実施することが妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

毎年、パーク利用者数10万人を目指すとともに、県内小中学生による体験学習参加者5,000人を目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R3)	R5年度 目標	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①パーク利用者数	87,950人	100,000人	100,000人	100,000人	100,000人	-
②体験学習参加者数	5,529人	5,000人	5,000人	5,000人	5,000人	-

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。 新型コロナウイルス対策の観点から適切な時期を見定め、55万人記念セレモニーを実施した。当イベントは新聞にも取り上げられるなどして、パークの盛り上がりを演出した。</p>
令和4年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和5年度	<p>令和7年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 2	<p>供用開始後の事務経費等並びにパークの利用促進及び活性化に係る経費であり、県が主体となって実施することが妥当である。</p>
<p>・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	<p>あゆパークで漁業体験をすることで、魚釣りに関心をもってもらうことができた。 [アンケート結果] 魚釣りをしたことがある・・・38% 漁業体験を通じて釣りをしてみたいくなった・・・94%</p>
<p>・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 2	<p>周辺施設と連携しつつパークでのイベントを行うことで、より効果の高いイベント、活性化事業を実施している。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 遊漁者数が減少しつつあることから、小中学生に魚釣りに興味をもってもらう必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか あゆパークを何度も利用してもらえよう体験メニューやシアターの有効活用が求められている。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	
補助事業者 (団体)	(理由)
補助事業の概要	(目的) (内容)
補助率・補助単価等	定額・定率・その他 (例：人件費相当額) (内容) (理由)
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 (理由)

(事業目標)

・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位：千円)	H30年度	R元年度	R2年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none">取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none">事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none">事業が直面する課題や改善が必要な事項
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none">継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
